



中国から到来した神農氏

(連載1)

順天堂大学医史研究室非常勤助手 陶 恵寧

1998年秋、その頃大学院一年生の私に研究室の方が、毎年大学の近くにある湯島聖堂で行われている恒例の神農祭のことを教えてくれた。中国医学・薬学の神様が日本でこんなに親しく祀られていることに感動した。その後、講義のため、中国から伝わり日本で祀られている神農氏のことを調べた。

神農氏とは

神農氏は中国の神話に登場する古代の帝王で、**薬王・五穀爺・烈山氏**とも呼ばれる。中国において、伏羲（ふっき）、女媧（じょか）に続く、古代の三皇五帝の三皇の一人である。火徳（五行思想による五つの天性のひとつ）をもつ神で、炎帝とも呼ばれる。

神農氏は、母が陝西省の華陽で遊行のとき、竜に感応して姜水（黄河流域の河名で、岐水とも言う、陝西省岐山県を流れる河）のほとりで生まれたことから姓を姜という。

生まれて三日にして口をきき、五日で歩き、七日で歯が生えたといわれている。成長すると、姿は人身牛首で、身の丈は八尺七寸、龍のような顔と大きな唇をしていたとある。神農氏はある部落の首領となって、初めは陳に都をおき、後に山東省曲阜へ移り、最後は湖南省長沙で崩じ葬られたとある。在位は120年、その後子孫が八代530年間にわたって続いた後、黄帝の時代になったと言われている。



『一語でわかる中医基礎用語』(仮名)

源草社 より出版予定

今ある用語辞典は難しくてわからない!!

というご意見が多く寄せられました。

そこで、中医学初心者の方でもわかりやすい用語辞典を作成中です。コンパクト（四六判）なので携帯にも便利です。

11月下旬には完成予定ですので、是非、勉強にお役立て下さい。



杏林薬膳橘井

(連載2)

中医学にはよく「杏林」「橘井」などの言葉を使います。その言葉の由来、また歴史の中で有名な医学者・著作を24号から連載して紹介しています。

橘井とは

蘇耽（そたん）

橘はみかんを指します。西漢の時代、湖南に蘇耽という親孝行をしていた道士がいました。彼はすぐれた技を持っています。仙人になる前、母親に“来年疫病が流行るので、みかんの葉を井戸の水でつけて治療すれば助かる”ということをお伝えしました。翌年、本当に疫病が流行りました。街には高い薬を売り出す医者でしたが、母親が彼の話の通り、みかんの葉をつけた井戸の水で多くの人々の命を救ったので、「橘井」は医徳の高い医者代表となりました。



卒業生 岩井浩さんの
**漢方とツボと経絡ス
トレッチの本** (晋遊舎)
中医薬膳師通信教育コ
ースを卒業し、中医薬膳
師・登録販売者として活
躍中の岩井浩さんの著書
です。
薬膳の基本・気の流れ
をスムーズにし、自宅で
かんたんに行えるストレ
ッチや症状別に効くツボ
などを紹介した一冊で
す。

著書紹介

お知らせ
HPを持っている卒業生で、本草薬膳学院のHPにリンクを貼りたい方、学院まで連絡ください。
※HPの内容によっては掲載できない場合がありますので予めご了承ください。

中薬の販売中止のお知らせ

前回の本草つうしんでお知らせしておりますが、薬事法の規制により、学院での中薬の販売は厳しい状況に置かれております。中国からの輸入なども検討したのですが、販売許可の問題があり、学院の存続を第一に考え、現在の在庫がなくなり次第（残りはわずかです）、中薬の販売は中止することとなりました。

今までご愛顧いただき誠にありがとうございました。学生の皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後はお近くの薬局でお求め下さい。ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。尚、薬膳教室等で使用する場合は問題ありませんが、販売する場合には許可が必要です。薬局などを経営されていない方は充分にご注意下さいますようお願いいたします。